

女神さま・オープン(3ヵ月決算型)の運用状況

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

2021年2月26日

当レポートでは、米国株式市場の見通し及び当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

景気敏感株が上昇を主導

2月の米国株式市場は上昇しました(2月19日現在)。市場予想を上回る2020年10-12月期業績が多くの企業から発表されたことを受け、今後の景気見通しに対する楽観的な見方が強まり、**景気敏感株が上昇を主導する展開**となりました。

業種別では、原油価格の上昇によりエネルギーセクターが大きく上昇しました。これは、テキサス州を中心とした米国南部の記録的な寒波で各地の油井の操業停止などにより、米国の原油生産量が大きく落ち込んだためです。また、長期金利の上昇を受けて金融セクターなども上昇しました。一方、主要企業の決算内容が市場予想に届かなかったヘルスケアセクターや、長期金利の上昇と天然ガス価格の値上がりによるコスト増が嫌気された公益事業セクターなどが下落しました。

米国株式市場はバブルなのか

米国の主要な株価指数は、史上最高値を更新するペースで上昇しています。また、2020年のIPO(株式新規公開)による資金調達額は過去最高に達し、上場後の大型IPO銘柄のリターンも好調に推移しています。このような動きを受け、米国株式市場は「バブル」が懸念される水準まで過熱しているという見方が散見されます。

図表2は、直近2回の上昇相場のピーク時と現在のバリュエーションを比較したものです。これを見ると、**現在の予想PERは、過去の平均水準を上回っており、ITバブル期のピークに近づいています。**

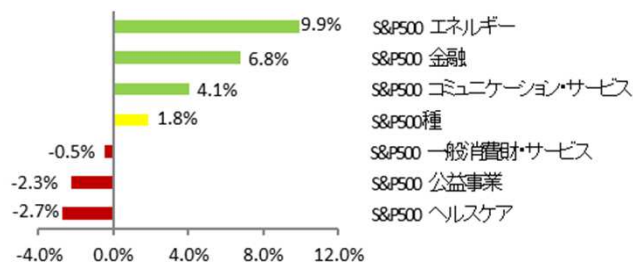
しかし、株式が割高か判断する基準は、**過去の水準との比較だけでなく、金利水準との相対的な評価も重要**であると考えています。

米10年国債の金利水準との比較においては、株式は割高な水準ではないことがわかります。現在の長期金利は、ITバブル期や金融危機時と比べて大幅に低い水準にあり、**株式益利回りと10年国債金利との利回り差は、ITバブル期がマイナスだったのに対し、現在は3%を上回っています。**また、配当利回りが国債利回りを上回っている点からも、株式が相対的に割高とは言えません。

確かに、IPO市場の活況やSPAC(特別買収目的会社)の急増、特定銘柄の株価乱高下など、「バブル」を示唆する兆候が一部には見られます。しかし、**当ファンドが投資対象とする大型優良銘柄については、現在は過度に割高な水準ではないと判断しています。**

図表3は、S&P500配当貴族指数の12ヵ月先予想PER(株価収益率)と配当利回りの過去5年間の推移です。いずれの指標も過去の水準から大きく乖離していないことがわかります。

図表1 S&P500種指数のセクター別リターン上位下位3セクター
(2021年1月22日～2021年2月19日、配当込み、米ドルベース)

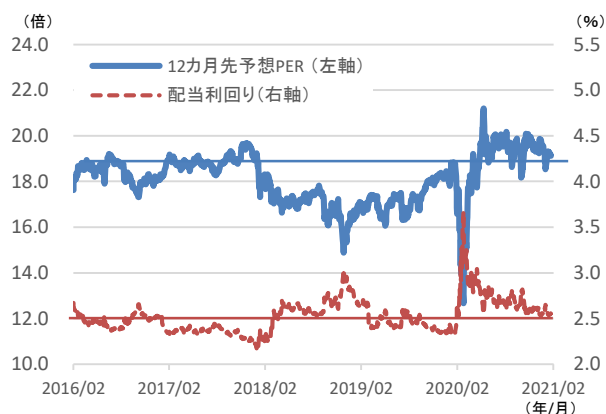


(注)セクターはGICS(世界産業分類基準)ベース

図表2 S&P500種指数のバリュエーション比較
(現在、ITバブル期前の最高値、金融危機前の最高値)

	現在 (2021/2/19)	ITバブル期前 (2000/3/24)	金融危機前 (2007/10/9)
12ヵ月先予想PER(倍)	22.1	25.1	15.3
配当利回り(%)	1.5	1.1	1.8
株式益利回り①(%)	4.5	4.0	6.5
10年国債利回り②(%)	1.3	6.2	4.6
利回り差(①-②)(%)	3.2	-2.2	1.9

図表3 S&P500配当貴族指数の12ヵ月先予想PERと配当利回りの推移
(2016年2月29日～2021年2月19日、日次、米ドルベース)



(注) S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。
(出所) 図表1～3は、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2021年2月22日)

設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額(円)	10,915
残存元本(口)	1,101,516,913
純資産総額(円)	1,202,305,431
実質株式組入比率(%)	92.8
短期金融商品その他(%)	7.2
組入銘柄数	76

直近7決算期	分配金(円)
第19期(2020年12月28日)	900
第18期(2020年9月28日)	0
第17期(2020年6月26日)	0
第16期(2020年3月26日)	0
第15期(2019年12月26日)	450
第14期(2019年9月26日)	0
第13期(2019年6月26日)	0

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10業種			組入上位10銘柄			
	セクター名	比率		銘柄名	セクター	比率
1	ソフトウェア・サービス	13.0%	1	ネクステラ・エナジー	公益事業	3.2%
2	資本財	12.4%	2	SVBファイナンシャル・グループ	銀行	3.0%
3	ヘルスケア機器・サービス	9.9%	3	イートン	資本財	2.6%
4	各種金融	9.5%	4	パーカー・ハネフィン	資本財	2.1%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.7%	5	ブラックロック	各種金融	2.0%
6	半導体・半導体製造装置	5.9%	6	サーモフィッシュャーサイエンティフィック	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.0%
7	小売	4.9%	7	アルファベット	メディア・娯楽	2.0%
8	銀行	4.7%	8	マステック	資本財	1.8%
9	素材	4.6%	9	ターゲット	小売	1.8%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.2%	10	パロニス・システムズ	ソフトウェア・サービス	1.8%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、業績上方修正が期待できると判断した医薬品・バイオテクノロジー株とソフトウェア・サービス株を買い付けた一方、公益株の一部を売却しました。

今後の米国株式市場は、短期的には上値の重い動きを想定します。好調な企業業績やバイデン新政権による追加の経済対策への期待が株価の下支え要因になる一方、長期金利の上昇が重石になると予想しています。

当面の運用につきましては、ソフトウェア・サービス株や資本財株、ヘルスケア機器・サービス株を高位にウェイト付けします。また、今後の業績回復が株価に織り込まれていないと判断される素材株の買付けを検討します。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.595%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産で負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

2021年2月26日現在

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
(登録金融機関)					
株式会社神奈川銀行	関東財務局長(登金)第55号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)